

(配布先)

支店長・副支店長

施工担当部署長、建設所長

副部長・副所長・統括工事長

安全長・安全主任

工事長・工事主任

関西支店災害防止協議会

事務連絡 (安-2021-13)

令和3年6月4日

関西支店 安全環境部長

設備第一部長

電気による災害防止について (要請)

先週、他支店改修工事作業所において、無停電装置への配線を撤去するため、電気工事がセーバーソーでケーブルを切断していたところ、スパークが発生し、顔・右手付近に火傷を負うという災害が発生しました。幸い命に別状はありませんでしたが、あわや感電、重篤災害という事案です。(別紙参照)

切断したケーブルは束になっており、束の中に蓄電池から無停電装置への配線がありましたが、直流用検電器を使用しなかったために、活線であることが検知できませんでした。また、「安全衛生管理標準」において、蓄電池が装置と別の場所に設置されている場合には、配線を先に取り外すことになっています。

過去には、同様にスパークしたことによりケーブルの被覆が燃え、発生した有毒ガスにより3人が被災するという重大災害も発生しています。

つきましては、スパークに起因する同種災害や感電災害を防止するため、下記事項を徹底するよう作業所関係者に周知してください。

記

配線等を切断する作業においては、蓄電池等をあらかじめ取り外しておくとともに、充電していないことを確認するため、適切な検電器を使用して安全確認を行うこと。(添付資料参照)

以上

※この事務連絡は、令和3年6月3日に安全環境本部 安全部長、建築総本部・設備本部 設備生産計画部長連名で発行された事務連絡に基づき作成しました。

「安全衛生管理標準」(抜粋)

3. 改修工事で特に留意する作業

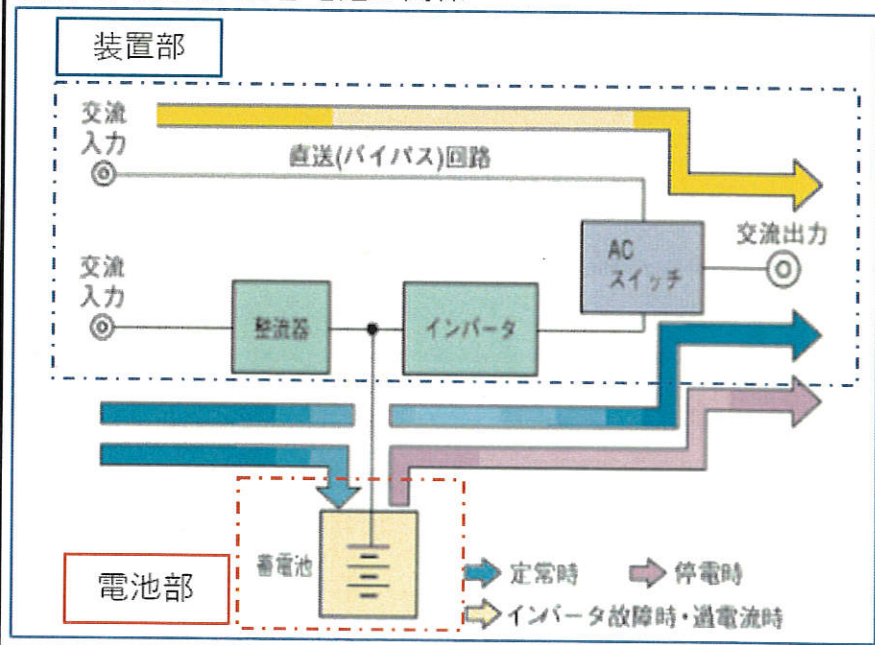
1. 計画

1. 作業指揮者、監視員、有資格者、配員の状況の確認を行う。
2. 作業手順の確認
 - ①分割位置、形状、重量、玉掛け要領、方法
 - ②水平移動、垂直移動の方法、使用する機械・機材・工具・資材の仕様、構造体の強度、作業スペース、ストックヤード
3. 上記にあつてはアンカー、吊り用フックの強度、位置の他、その取り付け、盛り変えの方法も確認する。
広いスペースで吊りフックの位置に解体部材の重心を合わせるよう本体を移動して、解体するように計画する。
4. 屋内では換気、採光の確認を行う。
5. 電源、その他の配線、配管は必ず切り離して置く。とくに、制御線など、経由配線で他の機器へ渡っている場合があるので、調査を十分に行い、事前に配線を盛り変えておく。
6. 搬出ルート、揚重機の機種選定と能力を確認する。
7. 外部に発塵する時は周囲の環境を考慮し養生等を考慮する。

蓄電池も
電源です

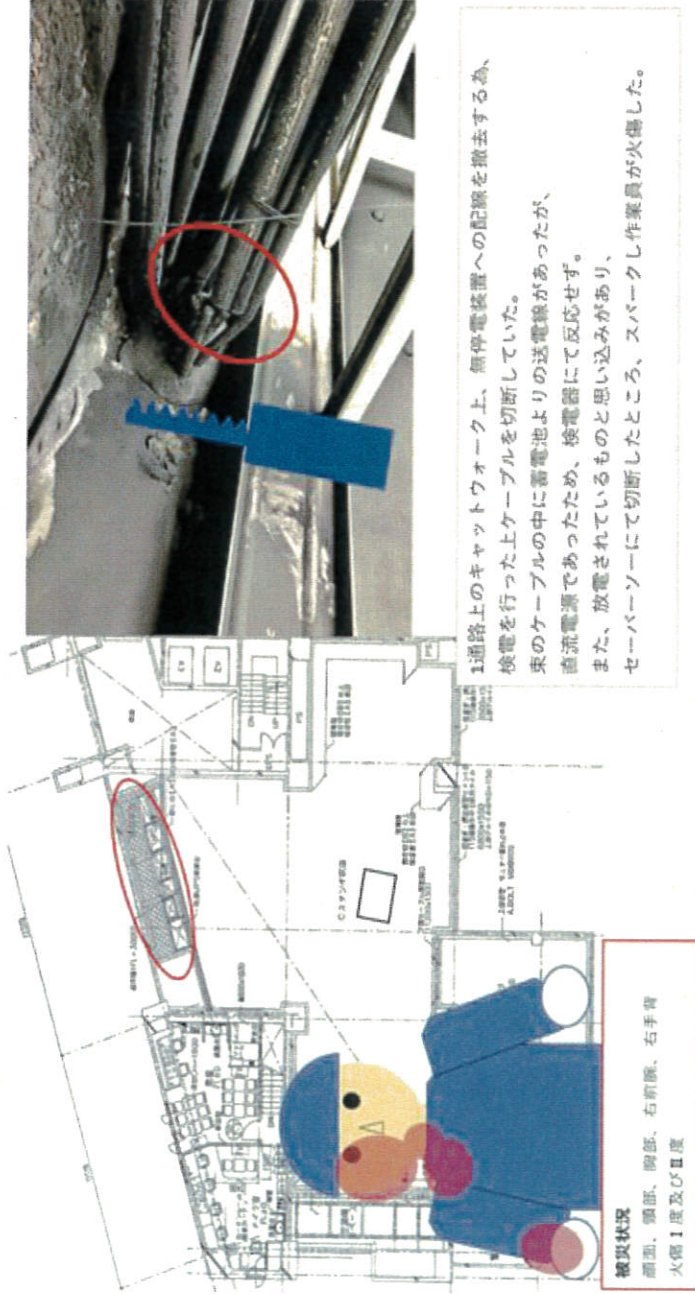
【参考】

無停電電源装置と蓄電池の関係



(高温、低温物との接触) 幹線撤去作業中、スパークが発生し電工が火傷災害

- ◇ 発生日時 : 2021年5月27日 (木) 午後3:40分頃
- ◇ 被災者 : 電気工事 34 歳 (所属 3次) 経験 14年5ヶ月



【発生状況】

キャットウォーク上で無停電装置への配線を撤去するために、セーバーソーでケーブルを切断している際、帯電状態である蓄電池からの送電線を切断してしまい、スパークが発生し、顔・右手付近に火傷を負った。ケーブルが束だったため一本ずつ切断できず、直流電源であったため検電器にて検知できなかった。

顔面、頸部、胸部、右前腕、右手背面 I 度及びII度 熱傷 (休業見込日数:10日)

